

# 令和6年度足柄高等学校第1回学校運営協議会 会議概要

令和6年6月13日(木)  
足柄高等学校 会議室

## 足柄高校の概要について(校長)

### ○入学者選抜選考基準について

- ・第2次選考については8:2で変更なし。
- ・第1次選考の「学習の記録」と「学力検査」の割合を5:5に変更した理由は、学力に自信のない生徒が4:6の比率だと他の県立・私立の高校に流れてしまうと考えたため。

### ○指定校事業について

- ・プリント記載の「共に学び共に育つ体育授業の研究」事業委託実践校、教育課程実践検証協力校(地理歴史)の他に、インクルーシブ実践推進校としての取組みを学校全体で行っている。

## 令和6年度の学校運営課題について(校長)

### ○生徒の学力向上に向けた支援としての具体的な作戦

- ・在籍生徒の学力向上のためにスタディサプリを使用し、業者の方と情報交換しながら生徒の現状を分析し、生徒への呼びかけを行う。
- ・学習フェーズ引き上げのために、生徒たちの学習状況を確認し、学習が足りていないと判断した場合、個別に職員が声掛けを行う。
- ・スタサブ部や補習等により、生徒の学力の引き上げをサポートすることで、生徒自身が次のステップへとチャレンジしていく意識を育成する。

### ○学習塾を訪問する受験生増加作戦

- ・学習塾の方へ足柄高校を紹介し、志望校を検討している中学生に対して、足柄高校を紹介してもらうようお願いをする。

### ○「総合的な探究の時間」に関する探究学習向上作戦

- ・外部教材「キャリアナビ」を取り入れ、探究学習を進めていく。
- ・1年生の総合的な探究の時間では、南足柄市商工観光課と連携し、地域に根差した探究活動を行い、課題意識を養う。
- ・朝読書を減らし、時間を他のことに有効活用する。

### ○中学生とその保護者へのアピールのため、同窓会に協力頂き、学校紹介動画の再構築作戦

- ・校舎案内等に加え、紹介動画の作成を外部委託することで、よりリアルな学校の雰囲気や学校生活の様子を紹介する。

## 協議 令和5年度学校評価報告書及び令和6年度～令和9年度学校教育計画について

### ○教務グループ

- ・スタディサプリの活用を積極的に行っていくことで、反復学習や、既習事項の抜けの補完が可能である。
- ・教員は生徒の取組を確認することができるので、状況によって、声をかけていくことで学習の習慣化、基礎力向上に繋げていく。
- ・スタサブ部等の活動によって、学力のレベルが高い生徒も放置せず、引き上げていく。

## ○進路グループ

- ・南足柄市商工観光課と連携して企業講演会を行い、生徒自身が地域の課題について考え、生徒自身が課題を見つけ、発表するという探究的課題活動と地域を結び付けた取り組みを行う。
- ・地域の企業等と連携することで、より課題を「自分ごと」として捉え取り組ませることに繋がる。
- ・外部の機関や資源を有効的に活用していく。

## ○生徒会グループ

- ・6月5日（水）に体育祭を行った。数十年ぶりの開催となったが、生徒たちは応援や競技に対して賑やかに、且つ真剣に参加しており、無事に催すことができた。フィードバック等を適切に行い、今年度の体育祭をきっかけとして、よりよい体育祭を作っていけるように努めていく。
- ・文化祭は昨年度からコロナを意識せずにできるようになった。今までのものをより発展させる形で、多くの方に来てもらえるよう、宣伝等にも力を入れていきたい。
- ・部活動の参加率は低下傾向にある。教員の働き方改革等もあり、難しい点もあるが、部活動の紹介や活動の活性化等のアプローチを活発にしていきたい。

## ○生徒支援グループ

- ・サポートドック導入から2年目に入った。今年度は5月、9月に実施する。
- ・交通苦情を頂く機会は少なくなっており、今年度は通学路における事故の報告はない。交通マナーの意識が生徒にも教員にも根付いてきているので、引き続き通学路指導等を適切に行っていく。

## ○管理運営グループ

- ・地域との連携について、避難所設置訓練を秋に行う。メインは災害時帰宅困難になる生徒への対応であるため、避難所を設置することが目的となってしまうよう留意したい。
- ・例年、職員による防災グッズの使用にとどまってしまうため、地域の方にも積極的に防災グッズの体験や実践を勧めたい。
- ・校内の様子や取組みを地域の方にも認知してもらうことで、生徒の地域理解や、地域の方々との共同作業の推進に繋げていきたい。現在、本校のPTA広報誌を地域の自治会の方に回覧していただくことを考えている。

## ○情報管理グループ

- ・足柄高校の広報について、入学者選抜における定員割れ等も考慮し、学校説明会や中学校訪問を通して積極的に行っていく。具体的には動画の作成や、ポスターのデザインの変更を行っている。
- ・生徒たちの活動等を発信するために、ホームページをこまめに更新していく。各部活動にホームページ更新担当の教員を配置し、積極的に部活動実績等を更新してもらうようにした。更新作業が苦手な教員に向け、マニュアル化も行った。可能な限りタイムリーな情報更新を行っていく。
- ・動画作成について、同窓会の方に協力を頂き、作成中である。完成した動画はホームページへの掲載や、学校説明会での上映を検討している。

## ○事務

- ・生徒用機の更新を要望している。現在のものより幅が広めの机になる予定。
- ・校舎の長寿命化対策として、普通教室の扉の軽量化や、蛍光灯のLED化を検討している。

## 質疑・意見交換（○：委員 ●：学校）

- 入学者選抜の選考基準の比率変更について、近隣や同程度の学校はどうなのか。
- 5：5としている学校が多い傾向にある。
- 生徒たちが主体的に物事に取り組むことができるよう考えられていると感じた。課題をただこなしていただくだけでなく、生徒自身が考えた取組みを実現できるような環境づくりをしてほしい。

- 制服について、生徒の意見を大切にしてほしい。
- 子どもの居場所づくりとして、地域でどのような場所があるといいのか、生徒の意見を聞く機会がほしい。
- 地域連携について、一ノ堰の早咲き桜は里親制度によって成り立っていた。地元の人だけでは対応しきれないため、学校と連携して桜に携わる人を増やしていきたい。
- 地元自治会が一ノ堰の早咲き桜を担当しており、制度や新しい方向性を考えながら工夫していく。
- 里親条件は担当した桜の木の周りの除草ができる人。生徒でも里親となることが可能なため、自治会として募集していくことを検討している。
- 通学路パトロールの際、生徒からの挨拶や表情等から生徒が学校を楽しめているように感じている。
- 交通苦情が寄せられる地域の方とのコミュニケーションをとってみてはどうか。地域の方と生徒たちとの関わりがないからこそ、迷惑な点に敏感になってしまうのではないかと考えている。自治会では苦情があった場所付近の方にアンケートの実施を検討している。
- 地域の方と生徒たちの交流が必要だと思うので、地域美化デーの際、公園付近の清掃に、生徒にも参加してもらってはどうか。
- 新しい取組みを導入するのも大切だが、「なにをやめるか」も検討し、働きやすい環境づくりをしてほしい。
- 地域の方に足柄高校を知ってもらう取組みの一つとして、地域企業とのコラボ等について、地域広報誌等を活用して積極的にPRをしていくとよい。より理解してもらうことに繋がると考えられる。
- 部活動について、加入率の高低で話をする必要はないと考えている。それ以外の切り口で生徒の満足度をはかる必要がある。

#### その他

- ・次回は11月を予定している。
- ・文化祭は9月7日、8日。両日とも一般公開。

#### 閉会